

# 『みえ産業振興戦略』（案） 概要と構成 ～「移動する県庁」：現場主義からの政策創造～

## 第1章 戦略策定の背景と課題

- 1 近年の地域産業政策
  - 企業誘致と中小企業振興を両軸とした産業政策を展開
- 2 汎用品生産拠点からの脱却をめざして
  - 情勢の変化に対応した産業政策に転換(四日市臨海部工業地帯の産業再生、高度部材イノベーションC等)
- 3 成果と残された課題
  - 自動車関連産業と電気電子関連産業を中心とした輸出型産業で県経済成長をけん引
  - 製造品出荷額等が全国トップクラスの伸び率で推移するものの、付加価値率が低い構造になっている。

## 第2章 戦略の策定について

- 1 戦略策定の目的
- 2 戦略の策定手法

## 第3章 地域（現場）からみる産業構造の変化と企業行動の在り方

- 1 産業別の付加価値構造・就業者構造の変化からの考察
  - 強みは「高度部材」と「中小企業のものづくり基盤技術」、特定の業種に過度に偏らない強じん度で多様な産業構造構築の必要性、製造業と非製造業を産業の両輪に両者を伸ばす必要性
- 2 代表的企業の事業構造の考察
  - ①高度部材・素材技術を活かした成長産業の強化 ②安定収益を確保する事業ポートフォリオの最適化 ③新興国等の海外市場の開拓 ④グローバルな社会的問題解決への貢献
- 3 企業アンケート調査の考察
  - ①経営戦略: 基盤となる人材育成・確保と国内市場での競争力・技術力強化 ②期待分野: クリーンエネルギー分野と医療・介護 ③成長戦略として求められる海外展開 ④外部連携の実施比率が低い ⑤望まれる立地環境: 顧客との近接性など複数項目に分散 ⑥社会的責任: 企業の存続・成長 ⑦地域資源活用型産業の課題: 販売チャネルやマネジメント人材の確保や市場ニーズの把握等
- 4 ものづくり三重の考察
  - 製造品出荷額等は全国上位だが、付加価値率(付加価値÷出荷額)は全国平均を下回る状況
  - 中小企業(製造業)の付加価値率は全国42位 → 付加価値額の増加と付加価値率の向上が課題

【みえた課題】 ★世界にはない部材・素材を提供できるのに生かし切れていない ★付加価値率が低い  
★海外展開を行う企業が意外に少ない ★外部連携を行っている企業がかなり少ない

## 5 企業1,052社訪問の考察 現場の生の声から導かれるキーワード

- ①製品・技術・ノウハウ: 外部連携、地域資源活用、顧客起点の視点、感性価値・ストーリー性の導入
- ②販路: 行政のサポート、国内の経済・市場状況への対応策、展示会・ビジネスマッチング
- ③円高: 台頭するアジア企業との価格競争、円高への対応策、円高の間接影響と自動車産業の生産移転、企業買収
- ④海外展開: 障壁、行政のサポート、海外展開を考えない理由、現地生産のメリット
- ⑤人材: 求める人材像、人材採用・人材育成のポイント、人材不足と対応策、課題、行政のサポート 等々

## 第4章 検討会議の議論

- 1 成長産業 先行営業によるプロジェクトの構築
  - 社会的問題解決型産業を成長エンジンに(「クリーンエネルギー」「医療・健康」)、産学官・企業間連携 等
- 2 立地環境整備
  - 研究開発拠点化や、地域・社会貢献につながる企業の県内投資の促進、新たなバレー構想の重要性 等
- 3 中小企業
  - 世界に通用する高い基盤技術開発の促進、徹底した現場ニーズ把握によるきめ細かい支援策 等
- 4 内需振興(新しいサービス産業、観光の産業化)
  - 社会的問題解決市場の形成、交流人口・移動人口増による産業の活性化、顧客志向型サービス産業の展開 等
- 5 海外展開
  - 中国やASEAN諸国の成長の取り込み(サポート拠点や企業間連携等)、「見える化」と売り込み戦略 等
- 6 ひとつづくり
  - 人材交流(企業間・産学)の活性化、雇用に結びつく人材育成と中小企業の成長に必要な人材確保 等

## 第5章 今後取り組む課題

- ①経済変動の大幅な振れと低付加価値構造をもたらす脆弱な産業構造 ②サービス産業の振興など強じん度で多様な産業構造の構築 ③高度部材の強みを経済活動の成果として引き出す ④クリーンエネルギーなど今後の成長産業の育成 ⑤産学官連携など外部連携の促進 ⑥企業の立地戦略と行政の企業誘致政策の転換 ⑦高い社会性を有する企業の集積・操業維持 ⑧新興国等の成長する海外市場の開拓 ⑨高度な専門人材の育成 ⑩地域資源活用における販売チャネルや人材の確保、市場ニーズの把握 ⑪企業の現場から上がる行政の課題

## 第6章 今後の産業政策と目指す姿

- 1 今後の産業政策
  - (1)ものづくりとサービス産業を両輪と捉え、ものづくり企業とサービス業を融合させていく産業政策の展開
  - (2)付加価値率の向上を伴った付加価値額の維持・拡大へのチャレンジ
  - (3)イノベーションとマーケティングの融合・連携～需要の喚起へ
  - (4)地域雇用の維持・創出～賃金の維持・向上～デフレからの脱却
- 2 戦略で目指す姿(目標値等) ※平成27年度の目標値
  - ものづくりを維持・強化しつつ、サービス産業の育成・強化を図り、企業が事業活動を通じて「付加価値額・率」を向上させ、「地域雇用」を維持・創出していく
  - ①ものづくり産業の付加価値を維持(2.37兆円:全国13位) ②ものづくり中小企業の付加価値率を向上(31.5%→35.2%) ③サービス産業(広義)の付加価値構成を向上(61.9%→64.7%) ④労働力人口に占める就業者割合を向上(96.0%→97.5%) ⑤サービス産業(広義)の就業者構成を向上(62.4%→64.9%) ⑥共感者(魅力と感じる人)の割合を向上(40.0%→60.0%) → 『一定の経済成長』を伴いつつ、『個人の幸福(豊かさ)』を実現

## 第7章 地域の成長戦略

- 1 成長産業(社会的問題解決型産業)への攻めの取組
    - ①クリーンエネルギーバレー(創エネ・蓄エネ・省エネを軸に研究開発や企業誘致) ②スマートライフ(メガソーラー・風力・バイオマスを絡ませた取組) ③スマートアイランド構想 ④ライフイノベーション総合特区(医療機器開発・医療情報DB) ⑤「高度部材」産業の強化 ⑥中小企業と大企業の連携 ⑥次世代型産業コンビナート
    - 分科会メンバーと連携したプロジェクトが続々と創出
      - ☆ 塩害対策型ソーラーシステムの研究開発
      - ☆ 住宅間直流電力融通技術の研究開発
      - ☆ 防災用フィルム基盤型ソーラー発電蓄電システムの研究開発
  - 2 戦略的な企業誘致(更なる県内投資促進への挑戦)
    - ①クリーンエネルギーバレー ②付加価値創出型施設(マザー工場)誘致 ③マイルージ制 ④金融機関等と連携した県内投資促進 ⑤アジアの拠点化を目指した外資系企業誘致 ⑥グローバルアクセスの強化 ⑦県内産業集積の更なる強化と空洞化防止 ⑧地域資源の再発見等を通じた県南部への設備投資促進 等
  - 3 ものづくり戦略(メイド・イン・三重)
    - ①ものづくり中小企業の育成(パッケージ化支援等) ②AMIC等による基盤技術支援強化 ③出前商談会 ④成長産業への参入促進と海外展開促進 ⑤技術連携やネットワーク化 ⑥顕彰による「見える化」
  - 4 サービス戦略
    - ①支援体制の強化(推進協議会) ②サービス企業の価値向上(棚卸と再発見等) ③「おもてなし」による顧客志向型サービス産業の振興 ④ものづくりと融合したサービス産業の創出 ⑤グローバルビジネスの振興
  - 5 観光の産業化戦略
    - ①関連企業等の一体的な取組 ②観光と他分野産業の融合 ③コンシェルジュや場所文化を軸とした共感者づくり ④地域資源を活用した商品開発 ⑤顧客志向型観光(サービス)産業の振興 等
  - 6 海外展開戦略(国際戦略)
    - ①海外展開拠点(サポートデスク) ②メイド・イン・三重の売り込み ③金融支援制度創設 ④海外見本市出展 ⑤経済交流開拓と総領事館等との関係強化 ⑥プロモーションと誘客活動 ⑦外国人観光旅行者受入体制 等
  - 7 振興戦略プラットフォームの構築
    - ①ネットワーク ②ひとつづくり(産業政策と雇用政策の連動、国内外からの人材取り込み、産業界・教育機関と連携した人材育成、サービス産業等への労働力の移行、若者・女性・高齢者等の就労促進、ハローワーク特区) ③中小・小規模企業の振興方針(5つの視点) ④県研究所(ハブ機能)
- 戦略の更新・改訂(ローリング)～雇用経済情勢を踏まえてローリングしフォローアップしていく仕組みを導入～  
県組織への反映～産業政策、雇用政策、観光政策、国際戦略の融合 そして 営業本部～

## 第8章 現場(1,052社訪問)からのメッセージ

- 企業経営戦略7カ条(県職員心構え10カ条)
- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 第1条:何よりも大切なモノ、それは社員そして人の「幸福」 | 第2条:「感動的」な価値を創り出せ          |
| 第3条:ものづくりは「ひとつづくり」           | 第4条:「おもてなし」こそ我々の強み         |
| 第5条:「特定少数市場」の深さを認識すべき        | 第6条:「自ら動け」、アクションからのみ事がはじまる |
| 第7条:「懐かしいモノ」で未来を描け           |                            |
- (番外:若手への3カ条)①我々は社会の構成員だ、悩む前に「働け」②「自分探しの旅」に出るな、君はそこに居る ③一緒に考えて・・・まずは「自分で考える」